

第 26 回歴史地震研究会(大津大会)のお知らせ(第 3 報)

歴史地震研究会は、本年 9 月 12 日～14 日に滋賀県と大津市のご後援を頂いて滋賀県大津市にて下記の研究発表会・一般向け講演会および巡検を行います。巡検・懇親会の申し込み、予稿集原稿締め切りは 7 月末です。琵琶湖と比叡山を借景とする美しい歴史都市・大津で皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

記

研究発表会・一般向け講演会の会場：大津市浜大津・明日都浜大津 4 階ふれあいプラザホール(JR 大津駅からバス 5 分, 京阪電鉄浜大津駅前；電話 077-527-8351)

プログラム

9 月 12 日(土) 研究発表会(10:30～17:00)・懇親会(18:30～20:30)

午前 9:30 受付開始 研究発表会資料代 500 円

セッション 1 災害教訓・防災啓発

- ・武村雅之・篠原憲一：震災の碑探しで深まる地域防災：神奈川県平塚市にて
- ・里口保文・小松原琢：姉川地震の震災写真を使った展示による防災アピール
- ・木村玲欧ほか 3 名：絵画によって子どもの「気づき」を誘発する環境防災教育手法の提案
- ・松尾裕治ほか 3 名：先人の教えに学ぶ四国防災八十八話～地震事例について～
- ・津村建四朗ほか 2 名：地震研究所に保存されている鳥取・東南海・三河・南海・鳥取地震のアンケート調査資料

セッション 2 活断層

- ・松浦律子：活断層評価における歴史地震解析結果の役割について
- ・金田平太郎・佐護浩一：トレンチ調査に基づく濃尾断層帯、武儀川断層の最新活動時期

12:00～13:00 昼休み

13:00～14:00 セッション 3 ポスター発表その 1

- ・松浦律子ほか 2 名：江戸時代の歴史地震の震源域・規模の再検討作業 ―文化 9・11 年土佐の地震等 5 地震について
- ・松岡祐也・都司嘉宣：安政東海地震(1854)による江戸及び関東全域の震度分布
- ・藤原治ほか 5 名：浜名湖西岸の浜名川流路跡で見られる 1498 年明応地震に伴う環境変化
- ・島崎邦彦ほか 12 名：三浦半島における津波堆積物調査から推定される関東地震の発生履歴
- ・中村操ほか 2 名：安政江戸地震の地方史料の解釈

セッション 4 地震の力学・断層モデル

- ・石辺岳男ほか 3 名：過去の大地震による静的クーロン応力変化と近年の地震活動の相関

性について

- ・林能成・小澤邦雄：1935年静岡地震断層モデルの再検討

セッション5 近代の地震

- ・佐藤弘美・黒崎ひろみ：1891年濃尾地震にみる文化財建造物の被害
- ・黒崎ひろみほか3名：1891年濃尾地震を中心とした過去の地震災害がもたらした経済変化
- ・諸井孝文・武村雅之：1923年関東地震における死者発生のプロセス（その4）
- ・武村雅之：関東大震災における米神・根府川（神奈川県足柄下郡片浦村）の被害総数

セッション6 近世の地震その1

- ・村岸純：1703年元禄関東地震による海岸環境変化の影響－房総半島南部を事例として
- ・宇佐美龍夫・植竹富一：寛文10年(1670)四万石の地震の再考
- ・中村亮一・植竹富一：史料にもとづく享和2年(1802)佐渡小木地震の沈降域の推定と断層モデルの考察
- ・河内一男：宝暦佐渡沖地震（1762年）の震央の修正とその意味

懇親会 大津市柳ヶ崎のびわこ大津館(旧琵琶湖ホテル)内レストラン：ル・シャルダンにて18：30～20：30、会場より送迎バスで移動します

参加費 院生・学生4000円、そのほか6000円 申し込みは rekishi09m.aist.go.jp または小松原琢(下記)まで

9月13日(日) 研究発表会(9：00～12：00)・一般向け講演会(13：30～16：00)・総会(16：30～17：30)

セッション7 近世の地震・津波・火山活動その2

- ・都司嘉宣ほか2名：安政東海地震・南海地震(1854)による河川閉塞、新湖出現記録
- ・今村隆正ほか3名：名立崩れと宝暦高田大地震による災害
- ・白石睦弥：岩木山と災害対応―硫黄山出火を中心に―
- ・松岡祐也ほか2名：『玄与日記』に記された文禄五年豊後地震(1596)による周防国上関の津波被害

セッション8 中世・古代の地震・火山

- ・桜井貴子：南史に痕跡の残る謎の大噴火と日本史への影響
- ・井上公夫：八ヶ岳大月川岩屑なだれ(887)によって形成され、302日後に決壊した天然ダム

セッション9 ポスター発表その2

- ・高柳夕芳・小山真人：13世紀古記録にもとづく未発見の東海地震の発生時期検討
- ・松岡祐也・都司嘉宣：安政東海地震(1854)による江戸及び関東全域の震度分布
- ・今村隆正：町居崩れ

・白石睦弥：岩木山信仰と領主権力—硫黄山出火とその影響—

セッション 10 近畿地方の地震・津波と復興

・羽鳥徳太郎：若狭湾岸の津波の挙動(福井県・京都府)

・小松原琢ほか 15 名：近江盆地の地震環境

・植村善博・小林善仁：1927 年北丹後地震による峰山町の被害と復興計画

・西山昭仁：文政京都地震（1830）における京都盆地での被害状況

一般向け講演会「近江の国の歴史地震～歴史に学ぶ地震防災～」(参加無料・事前申し込み不要)

講演者・演題(仮)は以下の通り．司会：植村善博

・宇佐美龍夫(東京大学名誉教授)：近江の国の歴史地震

・中島健(滋賀県立守山高校)：もしも地震がなかったら

・小椋正清(滋賀県防災危機管理局)：自助・共助による防災力

総会

9 月 14 日(月) 巡検「滋賀県西部の地震史跡」(案内者：西山昭仁・植村善博・今村隆正・小松原琢)

参加費 5000 円(バス代・昼食代・保険代) 申し込みは rekishi09@m.aist.go.jp または小松原琢まで、旅行傷害保険加入のため氏名・電話番号(自宅または携帯)・自宅住所・生年月日を書き添えてお申し込みください。

コースは次の通り：8：00 浜大津集合-①膳所城跡-②堅田断層 2006 調査地-③白鬚神社-④安曇川道の駅(昼食)-⑤朽木陣屋跡-⑥町居崩れ跡-⑦葛川明王院-17：30 過ぎ京都駅解散

お問い合わせ・各種申し込み・予稿集原稿送付先は

電子メールの場合：rekishi09@m.aist.go.jp(歴史地震研究会行事委員会：小松原琢・植村善博・西山昭仁)

ファックス・郵便など：小松原琢(〒305-8567 つくば市東 1-1-1 中央第 7 産業技術総合研究所地質情報研究部門 FAX029-861-3653 電話 029-861-3839)

ご注意：研究会では宿泊予約を扱いません。また会場は大津市中央部の繁華街にあるので、12 日・13 日の昼食予約は取りません。悪しからずご了承ください。宿泊施設のお問い合わせは、びわ湖大津観光協会(077-528-2772)または大津駅観光案内所(077-522-3830)までお願いいたします。